

まちのわだい

三原神明市にぎわう

2月7日から9日まで三原神明市がJR三原駅北側一帯で開催され、約39万7千人(主催者発表)の人出でにぎわいました。会場には植木やだるま、飲食など約500の露店が並び、来場者たちは買い物などを楽しみました。7日には三原小学校の3年生と昭和園の園児たちが「だるま行列」を披露。張り子のだるまやお面をかぶって会場を練り歩くかわいらしい姿に、沿道からは温かい声援が送られました。

閩観光課(☎0848・67・6014)



本町西国街道地区の魅力ある まちなみづくりへ 提案書届く

1月24日、本町西国街道地区の景観のルールや地域資源の活用方法などについてまとめた提案書が天満市長に提出されました。同地区が平成29年に県の「魅力あるまちなみづくり支援事業」のモデル地区に指定されたことを受け、市は全6回のワークショップを開催。参加した地元住民や関係者らが提案書をまとめました。市は提出された提案書を参考に同地区の住民組織などと協働してまちなみづくりを進めます。

まちなみづくり成果発表会を開催

時3月23日(月)15時30分~17時

所市役所本庁8階

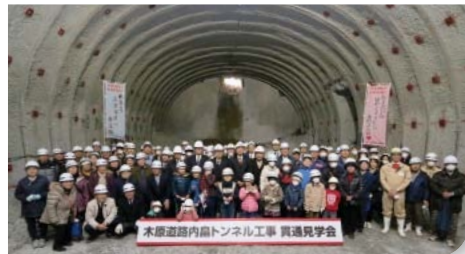
閩都市開発課(☎0848・67・6113)



木原道路 内畠トンネル貫通 見学会を開催

2月2日、木原道路 内畠トンネルの貫通見学会を開催しました。地元住民や関係者ら約100人が参加し、貫通を祝いました。木原道路は三原・尾道の両バイパスをつなぐ自動車専用道路で、令和2年度中に開通する予定。国道2号の渋滞の解消などが期待されています。削岩機で約2メートルの穴が開けられ光が差し込むと、参加者からは大きな拍手が起きました。

閩土木整備課
(☎0848・67・6095)



熱気あふれる はだか祭

2月15日、久井稻生神社で「はだか祭」が行われました。まわし姿の参加者250人が、幸運をもたらすといわれる陰(赤)と陽(白)2本の御福木を奪い合い、境内は熱気に包まれました。陽の御福木を獲得した尾道市の会社員・三澤直樹さんは、厄年の久井中学校卒業生などでつくる「未申会」のメンバー。

三澤さんは「みんなの厄を払うことができ良かった」と喜びを語りました。



姉妹都市の和歌山県新宮市と 災害時の相互応援協定を締結

2月20日、市は姉妹都市の和歌山県新宮市と災害時の相互応援に関する協定を締結しました。協定には相手方の市で災害が発生した場合、要請に応じて救助・応急復旧に必要な職員の派遣や資機材の提供を行うことなどを盛り込みました。両市は今後、災害対応についての経験やノウハウを共有するとともに、職員を視察派遣するなどして連携を強めていきます。

閩危機管理課(☎0848・67・6066)

